

第10回

議会報告会



松阪市議会

平成30年4月

行政チャンネル アイウェーヴ





一般会計・特別会計・企業会計予算

(単位:円)

	平成 30 年度	主要事業
一般会計	691億 5,992万9,000	駅西ワークショップ 市民大学講座 フルマラソン 津波避難対策 防犯カメラ設置補助金
特別会計	504億 8,797万8,000	競輪事業 国民健康保険事業 介護保険事業 後期高齢者医療事業などの8会計
企業会計	269億 7,134万5,000	水道事業 公共下水道事業 松阪市民病院事業の3会計
合 計	1,466億 1,925万2,000	

前年度より

約39億1,923万円増

竹上市政 3 年目の予算議会



当初予算における
基本的な考え方



チャレンジ予算



代表質問 & 関連質問



日本共産党



- ①エアコン設置、トイレ改修、国保税引き下げ、子ども医療費窓口無料化など、暮らしの要求実現について
- ②介護保険料の値上げと包括支援事業について
- ③地域医療構想と市民病院のあり方について
- ④子育て支援と放課後児童クラブについて
- ⑤地域交通システムの充実について
- ⑥「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画について
- ⑦文化遺産の保存活用について
- ⑧中山間地の振興策について
- ⑨公契約における不公正の一掃
- ⑩カリヨン問題
- ⑪非核平和都市宣言の街としての行動について

代表質問 & 関連質問



政志会



- ①財政について
- ②松浦武四郎生誕200年について
- ③人口減少対策について
- ④カリヨンビルについて
- ⑤休日夜間診療について
- ⑥公民館について
- ⑦海上アクセス跡地、
ターミナルの活用について
- ⑧競輪について
- ⑨小中学校へのエアコン、
トイレ洋式化の計画について
- ⑩防災・危機管理体制の整備について
- ⑪ベルファーム、森林公園について
- ⑫住民協議会のあり方の検討について
- ⑬過疎地域のこれからの政策について
- ⑭活力ある産業について
- ⑮スポーツ振興について
- ⑯子育て支援について
- ⑰観光及びプロモーション施策について
- ⑱ワンストップサービスについて
- ⑲貧困対策について
- ⑳市民病院について
- ㉑松阪駅西開発について



代表質問 & 関連質問

市民クラブ



- ①幼稚園・保育園職場の労働環境について
- ②保育業務支援システム ICT化の推進など
- ③農業振興 米生産調整の廃止を受けて
- ④空家等対策事業
- ⑤住民自治のあり方、住民協議会の役割は
- ⑥地域の元気応援事業
- ⑦地域公共交通システム事業
- ⑧カリヨンビルをめぐる問題
- ⑨フルマラソン開催に向けて
- ⑩給食センターのあり方、ビジョンについて
- ⑪田舎暮らし交流移住促進事業
- ⑫市民病院のあり方と今後の展開

代表質問 & 関連質問



真政クラブ



- ①松阪市財政構造の状況について
- ②市町の合併協定書事項と合併特例債
について
- ③国力に影響する人口減と定住自立圏構想
について
- ④松阪市都市宣言について
- ⑤監査委員の指摘事項と部局長の政策宣言
について
- ⑥フルマラソンの開催について
- ⑦カリヨンビル購入について
- ⑧子育て支援事業について
- ⑨企業誘致推進事業について
- ⑩交通安全対策について
- ⑪地域公共交通システム事業について
- ⑫行政組織について
- ⑬松浦武四郎生誕200年記念事業について
- ⑭篠田山斎場及び霊苑について
- ⑮総合雨水対策10か年戦略事業について
- ⑯松阪市の林業振興における今後の取り組み
について
- ⑰松阪市の空き家の状況と対策の取り組み
について
- ⑱地域防災計画の取り組みについて

代表質問 & 関連質問



公明党



- ①生活インフラ整備の充実について
- ②「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画について
- ③松阪牛の振興策について
- ④過疎対策について
- ⑤林業政策の推進について
- ⑥教員の長時間労働是正と教育の質の向上について
- ⑦学校での心肺蘇生教育の普及推進について
- ⑧産業用適地整備計画について
- ⑨スケートパーク建設について
- ⑩防災危機管理体制の整備について
- ⑪健診受診率向上の取り組みについて

代表質問 & 関連質問



グループ 皇



- ①市民意識調査の結果から見てくる広報の重要性について
- ②人口減少から生まれる労働力の低下対策について
- ③放課後児童クラブの今後について
- ④市役所本庁の空調設備工事について
- ⑤小中学校の空調設備と南海トラフ地震等で小中学校が避難所になった時の松阪市の考え方と
DBO方式の契約について
- ⑥子ども発達総合支援センターの外壁等のメンテナンスについて
- ⑦総合運動公園内のスケートパーク整備について
- ⑧津波避難対策について
- ⑨市財政について
- ⑩カリヨンについて
- ⑪市民病院のあり方について

代表質問 & 関連質問



内容 \ 会派名	日本共産党	政志会	市民クラブ	真政クラブ	公明党	グループ阜
カリヨンビル購入	●	●	●	●		●
市民病院在り方	●	●	●			●
防 災		●		●	●	●
財 政		●		●		●
「豪商のまち松阪」 中心市街地土地利用計画	●	●			●	
学校の空調整備	●	●				●
地域公共交通	●		●	●		
フルマラソン		●	●	●		
スケートパーク		●			●	●

カリヨンビル購入事業費（1億6,891万3千円）

裁判所からの調停の結果、
市が買い取ることを勧告されたため

市が3億円を出資、
国・県が計11億円の資金貸付

カリヨンビル購入
の是非は？

当事者それぞれに責任

市は適正な価格で購入することが、
できる限りの道義的責任



カリヨンビル購入事業費（1億6,891万3千円）

購入のメリットは？

年間約1,920万円の賃貸料が不要、
ビル購入費は9年で元が取れること

ひとよ

「松阪の一夜」の舞台。市指定文化財にあたる場所であり、保全意義が大きいこと

旧・参宮街道と和歌山街道の交差点という
中心市街地のど真ん中であること

まちづくり拠点と産業支援、
中心市街地活性化の複合施設であること



松阪市民病院事業会計繰出金（885万6千円）



三重県の医療構想

「市民病院の在り方」検討委員会の
設置に1,400万円(平成29年度)

地域医療構想と
市民病院の行方は？

「地域医療構想推進」に約886万円
(平成30年度)

松阪市民病院事業会計繰出金（８８５万６千円）



急性期病床が過剰

回復期病床を増やすべき

地域医療構想と
市民病院の行方は？

庁内に設置されたプロジェクトチームは
機能を発揮しているのか？

議会で特別委員会を設置するので、
あらゆる選択肢となるデータを提供

選択肢の一つというのが私どものスタンス。
それに沿った対応になっていく。

財政について



市債(市の借金) の残高は？

平成30年度一般会計(当初)過去最大
約691億6,000万円(対前年比8.7%増)
平成29年度当初:636億4,600万円

- 過去最大規模の予算・・・でも

年度	市債残額
平成26年度末	491億円
平成27年度末	471億円
平成28年度末	456億円
平成29年度末	469億円※
平成30年度末	521億円※

※平成29・30年度末は残額見込み

- 市長公約は「任期中の借金は増やさない」
- これまでに貯めた財政調整基金は平成30年3月末で約100億円
- ⇒平成30年度からは、財政調整基金を活用して、短期償還を行い、任期中の借金を増やさない見込み

中心市街地整備事業費（194万5千円）



『豪商のまち松阪』 中心市街地土地利用計画

Q: 松阪駅西地区の複合施設計画について

A: 短期では、昨年7月産業支援センター開設、
昨年10月観光交流拠点本館建設着手

集客性のある商業施設の誘致、行政窓口機能、市民活動拠点の充実の
ための複合施設の配置を10年をめどに準備をすすめる。

幅広い市民の声を取り入れるワークショップを開催

平成29年5月 松阪市

中心市街地整備事業費（194万5千円）



「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画区域

短期(5年)・中期(10年)・長期(20年)

中心市街地商業、都市基盤、福祉、
社会教育、文化財までさまざまな分野がかかわる計画

至 松阪IC

市役所

阪内川

『豪商のまち松阪』
中心市街地土地利用計画

市の取り組み姿勢、目標年次の設定の仕方、
時期ごとの計画についての質問

10年後、20年後という説明中心の答弁

国道42号線

縮尺 1:1000

小中学校へのエアコン設置について



竹上市政の目玉事業



Q:DBO方式によるスケジュールは？

A:平成30年11月に事業者選定、本契約後平成31年度中に完成予定

Q:学校・学年による差異は、夏休みに全校で工事をするのか？

A:仕様等はこれからの決定、最短で31年度夏中に完成予定

Q:市内の業者を優先的に使ってほしいとの声があるが？

A:地域に対する経済効果の部分については課題としてとらえている

Q:発注方法及び仕様書等で条件を付けていくのか？

A:設計・施工・管理の形で発注するので、どういう形で地域貢献の部分の評価できるか、他市の状況も踏まえ生かせるようにしていきたい。

地域公共交通システム事業費（1億4,712万円）



コミュニティバス主体の
デマンド型を含んだ見直しは
執行部と議会共通の認識

Q: 高齢者の交通の確保は？

A: 現在の鈴の音バスでは、学識経験者も加わって公共交通協議会の作業部会で平成31年度に新たな形態での運行を目指して検討を進めている。手法としては地域懇談会を設け、計画に市民の声を反映させていきたい。



地域公共交通システム（1億4,712万円）



Q：商工の一部門で対応の現状。いまの体制でやれるのか？

A：現体制を固定するものではなく、
全庁的な視点、最適な組織を目指し検討

Q：停留所が遠い。高齢者は歩いていくのは厳しい。
市としての考えは？

A：デマンド交通など、地域の実情にあった
きめ細かいサービスにつなげる研究

議会で取り上げ、
積み上げられた成果

みなさんの暮らしと共にまちを走る
お買い物、病院のお出かけなど、地域の皆さんの
交通手段として運行している各路線をご案内いたし
ます。路線ごとに運行時間・利用方法が異なります。
詳細は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先
松阪市（商工政策課）
TEL 0598-53-4184(直通) FAX 0598-22-0003
ホームページ <http://www.city.matsusaka.mie.jp/>



討 論

本会議
質疑、討論、議決

原案

反対



2月より開始されたマイナンバー制度活用のコンビニ自動交付は165通に過ぎず、市の窓口交付は、13,361通であり、市民は利便性より公共的な安全安心を選択されていること。
介護保険料が引き上げとなり、国の方向性である医療、介護、社会保障切り下げをそのまま受けていることから本予算には反対するとの討論。

討 論



原案

賛成

本会議
質疑、討論、議決



賛成の立場から、子育て政策中心に、医療・福祉、防災、産業等、市民ニーズに合ったきめ細かい政策や新しい取り組みを網羅した新年度予算であると考えます。市民意識調査や市民懇談会で得た市民の声をもとに、丁寧に具現化されている。さらなる市民生活の向上に向けたこの30年度チャレンジ予算に期待するとの討論。

討 論



原案

賛成

本会議
質疑、討論、議決



今後も借入れは返済を上回らないこととし、財政調整基金の確保に努めていただくこと。

スケートパークに関する関連事業について、『調査、協議、検討を深めていただく』ことを意見とし、賛成するとの討論。

討 論

原案

賛成



本会議
質疑、討論、議決



まず、確実と言える松阪市財政運営
次の時代を担う子どもへの集中投資、
新たな事業と継続事業の充実、
の大きく分けて3点の事業であり、PDCAサイクルを徹底し、市政発展に期待
する予算であることから、賛成するとの討論。

採決の結果

原案
賛成



行政チャンネル アイウェーヴ





説明に対するご意見

をお聞かせください。

松阪市議会



第2部 意見交換会 地域防災について



松阪市議会

松阪市地域防災計画



Q：避難困難地域と避難道路狭あい地域の違いは？

A：避難困難地域は、津波の浸水が想定される地域の中で一定時間内に浸水区域の外へ逃げられない、もしくは、最寄りの津波一時避難ビルに避難できそうにない地区。避難道路狭あい地域は、家屋の倒壊等で道路閉塞、道路が通れない状態になる可能性が非常に高い地区。

Q：公助としての実施計画とは？

A：市民の防災意識向上への啓発や共助の体制強化、また建物の耐震化実施の強化、公助面では、備蓄品の整備、防災訓練の充実を掲げている。新たな取り組みとして被災者への支援体制の構築を追記している。

松阪市地域防災計画



Q：津波避難施設整備を早急に出来ないか？

A：ハード施設には、さまざまな形態、形状があり当市に合った整備の手法を検討して行くには、一定の時間がかかるものと考えている。

Q：学校が避難場所となった時に教室は使うか？

A：大規模災害時には、体育館以外に校舎等の使用も考えている。

松阪市地域防災計画



Q: 交通規制がしかれた場合の情報共有の方法は？

A: 市のホームページを災害時の専用表示に切り替えて、必要な情報の掲載等を行っているが、リアルタイムでの情報発信が難しいところもある。

Q: 地域防災計画はどこが主体か、また地区防災計画との違いは？

A: **地域防災計画**は、行政を主体とした行動的なものであり、**地区防災計画**は、地区が主体で地域に見合った計画を策定する。

Q: 要配慮者が、一時避難場所へ行くのも困難な状況については？

A: 法の義務づけにより、避難確保計画の策定、避難訓練の実施を各自治体が地域防災計画に明記し、市が計画内容の点検等をする。そのようなガイドライン的なものによって取り組んでいく予定。

松阪市地域防災計画



Q:エリアメールができない世帯に対して何か考えているか？

A: 現在、携帯への緊急情報メールが主体、その後に防災行政無線、30年度には、より良い手法についても検討していく。

Q:ブロック塀対策の補助金制度の創設はできないか？

A: 現在は無いが、十分研究を進めていきたい。

Q:地域防災計画の抜本的見直しで、最も力を入れたポイントは？

A: 自助・共助・公助の明確化、実効性のある計画、津波避難対策の充実強化、受援体制、復興に向けた取り組みの明記、検索性の向上。



ご意見をお聞かせください！。

松阪市議会

第10回議会報告会



ご清聴ありがとうございました。

松阪市議会